

令和7年産レンゲ減減栽培研究会「夢つくし」

(5月16日 播種) 栽培 暦
(6月 9日 田植え)

北九州普及指導センター
J A 北 九

月	4月			5月				6月			7月			8月			9月		
旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
水管理																			
生育ステージ	<p>5/16頃 播種 (催芽粃) 一箱当り 150g 播き</p> <p>6/9頃 田植 6/9頃 50株/坪 35本/株</p> <p>有効分けつ終期 -35日 -30日 -25日 -20日 -10日</p> <p>幼穂形成期</p> <p>8/10頃 出穂期 穂揃期</p> <p>刈取 成熟期 9/12頃</p>																		
管理のポイント	<p>● レンゲ鋤き込み</p> <p>● 種子消毒 (温湯消毒) 60℃ 10分</p> <p>基肥 有機特栽米基肥 017号 0~40kg (10a当たり)</p> <p>基肥一発 有機エムコート (一発肥料) 256号 40~60kg (10a当たり) 又は</p> <p>穂肥 有機特栽米追肥 047号 0~30kg (10a当たり)</p> <p>土づくり レンゲ播種 堆肥投入 土壤改良材の施用</p> <p>最も水が必要な時期</p> <p>夢つくしの生育量・葉色に応じて調整</p> <p>《注意点》</p>																		
病害虫	<p>ばか苗病、いもち病、苗立枯細菌病、イネシソガレセンチュウ、苗立枯病、ウンカ類、イネミズゾウムシ、イネモチ病、スクミリンゴガイ (ジヤンボタニシ)、斑点米カメムシ (イネカメムシ)、紋枯病、イネネカメムシ、穂首いもち、ウネカ病、カメムシ類</p> <p>レンゲの生育量に応じて調整</p> <p>☆ 中干し以降はカメムシによる斑点米発生予防の重要な時期です。 ◆ 早めの畦畔雑草の除草を行い、薬剤防除により発生密度を下げる。 ◆ 出穂後の畦畔除草はしないこと。(カメムシが水田に侵入する)</p>																		
防除農薬	<p>● 種子消毒 温湯消毒 (必須要件)</p> <p>カスミン液剤 (必要に応じて)</p> <p>タチガレン液剤 (必要に応じて)</p> <p>重要 防人箱粒剤 (左記2剤のいずれか使用) フルスロツトル箱粒剤</p> <p>除草剤 ゼータプラスF、ゼータプラスG、ゼータプラスキロ粒剤 (左記3剤のいずれか使用)</p> <p>中後期除草剤 スクミンペイト3、スクミノン (必要に応じていずれか使用)</p> <p>ロイヤント乳剤、バサグラン液剤、クリンチャー1キロ粒剤 (左記3剤のいずれか使用)</p> <p>本田防除① 液剤: フロアブル、ダブルカットバリダ、アルバリン顆粒水溶剤、エクシードフロアブル (選択)</p> <p>粉剤: ブラシントレバリダ、ゴウケツモンスター</p> <p>本田防除② 航空防除: フロアブル、ダブルカットバリダ、エクシードフロアブル</p> <p>アルバリン顆粒水溶剤、スタークル豆つぶ、スタークル液剤10</p>																		
成分数	<p>① ① ③ ④ ② ② ② ① ① ① ③ ③ ① ① ① ① ① ① ① ①</p> <p>左の成分数の合計が10成分以下</p>																		